

次の世代にどんな環境を残していくのか

20年後の お堀の 環境は 大丈夫？

お堀で見つけた貝の標本と藻類の標本を展示!!

2025.3.22.sat

【2024年度 今治城お堀での活動報告】

みなと交流センター はーばりー みなとホール

時間 13:30-15:30

定員 50名/参加無料

主催: NPO法人今治シビックプライドセンター

後援: 今治市/今治市教育委員会

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金助成事業



お申し込み
はこちら



2024年度 今治城お堀での 活動報告

2024年度の事業では、2023年度の調査で判明した底質の環境をより詳細に調べるため、アサリを指標生物として、アサリの分布を調査しました。アサリの分布調査と並行して海藻の採取も実施しました。今回の調査では12種類の海藻が採取され、すべてさく葉標本にして当日に展示します。また、今治城のお堀の歴史について、今治城学芸員の藤本誉博さんにお話しいただきます。

調査報告

- お堀の泥の中にアサリが
いるかどうかを指針とした泥環境調査
- お堀の藻類調査

水草研究会会員、愛媛植物研究会会員

藤原 陽一郎



瀬戸内海の海洋漂着物の調査研究に携わる。
海岸清掃や海の生き物観察指導にも参加。
ビーチクリーンへの協力のほかに、
自然科学をテーマに活動を継続。
また、淡水緑藻のシャジクモ科の調査では、県内のため池、
水田環境、汽水環境を網羅的に調査し、
「愛媛県で確認されたシャジクモ科のリスト」を執筆中。
水草研究会、愛媛植物研究会に所属し、
研究成果を発表しています。

講演

今治城のお堀の歴史

今治城 学芸員

藤本 誉博



【藤本誉博 プロフィール】

今治城 学芸員(一般財団法人今治文化振興会)

【図録】

特別展『よみがえる瀬戸内の名城 ー今治城絵図・古写真展ー』

特別展『今治藩主 久松平氏の世界』

特別展『高虎と高吉 今治に伝わる藤堂氏二代の足跡』

【論文】

「中世伊予府中の海岸地域と「今治津」

「今治城絵図の歴史」

「室町後期から織田権力期における

堺の都市構造の変容 ー自治・支配をめぐってー」など



2月に行われた お堀の調査の様子